



2月はこんなこととして遊びたいな

- <年少> ○友達と目的をもち、遊びを進める楽しさを味わおう
- ルールのある遊びや集団遊びに進んで取り組もう
- <年長> ○考えたい工夫したいして遊びや生活を進めよう
- 自分なりの目標をもって繰り返し挑戦しよう

正月ならではの遊びを楽しもう！～冬休みの経験から～

「あけましておめでとうございます！」始業式に登園してきた子どもたちは、元気に新年の挨拶をしてくれました。「冬休みは〇〇に行ったよ！」「家でおせち料理を食べたんだ！」「カルタで遊んだ！」など、楽しかった冬休みの話もたくさん聞かれ、室内や戸外の遊びの中にも、経験したことが取り入れられています。また、友達と共有し合う中で「そんなものもあるんだ！」「面白そう！」と関心が広がり、遊びが深まってきました。

おせち料理づくり

おせち料理を、いろいろな素材を使ってつくりました。「かまぼこは赤と白があった！」「伊達巻はぐるぐる巻いてあるんだよね。」と、細かいところまでよく気付いていることに感心しました。



海老をつくり始めた年長さん。素材は紙粘土を選び、背中が曲がった様子を丁寧に表現しました。



つくっている中で愛着が湧いたのか、「目は黒いビーズ。大きすぎると海老っぽくないなあ。」「足と触角もつくる！」「“海老の色”が無いから、紐を絵の具で染めちゃおう！」こだわりが止まりません！

神社の鳥居

初詣に行った子から「神社をつくりたい！」と考えが生まれました。絵本を見て“赤い大きな鳥居”のイメージを共有しています。「これだ！」「僕が見たのも赤だった！」



「鳥居はぐるぐる物だから、みんなが通れる高さじゃないと！」「じゃあ、柱みたいに大きな物ないかな！？」立ててみると、子どもたちの背より大きい立派な鳥居ができていました。

「今度は、ここにお賽銭箱をつくろう！」「“しめ縄”も無いといけないよ！」神社づくりはまだまだ続きます。

コマづくり

正月遊びを楽しむ中で、コマ遊びに興味をもった子どもたち。ペットボトルのキャップや紙パックなどを使って、コマづくりをしました。

四角い紙パックに竹ひごを刺して回してみると、回る物と回らない物がありました。なぜだろう…考えていると「先生！上（の竹ひご）が長くて下が短い方がよく回る！」と気付いた子がいました。



実際にやってみると、「本当だ！よく回る！」と、新しい発見に関心が高まる子どもたち。「今度は丸い形もつくってみる！」「爪楊枝を使うとどうだろう？」

試行錯誤しながら、夢中になっていろいろなコマづくりを楽しんでいます。

凧揚げ

年長さんはカラーポリ袋と竹ひごを使って、年少さんはビニール袋を使って凧づくりに取り組みました。「広いところで凧揚げをしたい！」という思いから、前羽公園に行きました。前羽公園で出会った地域の方に“尾っぽ”を付けるとよく揚がるよ。」と教えてもらい「やってみよう！」と興味津々の子どもたち。戸外に製作コーナーをつくり、尾っぽづくりをしました。



「スズランテープだと軽くて回っちゃうみたい。」「キラキラテープだと、丈夫だからよく揚がったよ！」「3本付けるとどうかな？」素材や本数で揚がり方が変わることに気づき、いろいろな方法を試しています。

当番活動をやってみよう！

年少さんも十分に園生活に慣れ、「年長さんがやっている“お当番”をやってみよう！」と、興味をもつようになりました。年長さんに教えてもらいながら、いろいろな経験をしています。



おやすみしらべ

当番グループ決め

あいさつ当番

コマ遊び

コマ名人の椎野さんに来ていただき、コマ遊びをしました。“大山コマ”を回す様子を見せてもらい「椎野さんすごい！」「ずっと回ってる！」と釘付けの子どもたち。



「椎野さんみたいになりたい！」と、とても集中して取り組んでいました。椎野さんから「みんな紐を巻くところも自分でやろうと挑戦して、夢中になって遊んでいたね。とってもいいことだよ。これからも、コマ回し頑張るね。」と、嬉しいお言葉をいただきました。